みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目　三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱474・528
※責任者＝文教部長　川畑信子

＝家族時事問答＝

広がる中立の波

米大統領選挙後の国際政局

和男　アメリカの次期大統領がきまりましたね。ケネディという人はどういう人なんですか。

父　かれ自身は民主党の上院議員だったが、かれの父はアメリカの億万長者の一人で、その資産は四億ドル（邦貨千四百四十億円）といわれている。だから大金持の息子というわけかな。

母　ケネディかニクソンか大変な騒ぎだったようだけれど、ケネディが勝ったことでアメリカにどんな変化があらわれるのかしら。

労働者の味方ではない

父　なかなかむずかしい問題だね。まあ大筋においては、どちらが大統領になっても、あまり変化はないじゃないかな。ニクソンのバックの共和党も、ケネディのバックの民主党も結局は資本家の政党だからね。ニクソンが資本家の代弁者であることはよく知られているから議論の余地はないが、ケネディの方も家柄や選挙公約をみれば決して勤労者の味方ではないよ。力の政策を捨てていないしむしろ軍事力の充実を叫び、労働者にはもっと節約してゆけといっているからね。

のり子　でも多少のちがいはあるでしょう。

父　それはそうだよ。ニクソンよりケネディの方がまだましだ。ケネディが勝ったということは、アメリカ国民が八年間にわたるアイク＝ニクソン政権の冷戦政策にあきあきしていることの現われだと思う。このことが明らかにされただけでも大きな意義があったのではないか。

平和共存への気運

和男　ケネディ大統領の誕生は国際的にどんな影響をもたらすでしょうか。

父　再び徐々にでも平和共存への気運が高まるのではないかね。現にそのような反応が現われている。南ベトナムとグアテマラでクーデターの動きがあった。両方とも失敗に終わったが、アメリカの息が強くかかっているところだけに、アメリカの打撃はかくせないからね。

母　そういえば日本でもケネディの当選で中立論争が一段と盛んになっていますね。

父　もちろんだ。それからお隣りの南朝鮮でも中立を叫ぶ声が広がっているね。これは大いに注目すべきことだ。

のり子　そういえばこのところイギリスでアメリカのミサイル潜水艦ポラリスの基地設置に反対する運動がおこっているようだけどあれも中立化傾向の現われかしら

世界的に広まる中立を求める声

父　そうみていいだろうね。池田首相は経済の発展した国では中立の必要はないといっているが、ごまかしにすぎんね。今年のイギリス労働党大会がNATO（北大西洋条約機構）とアメリカの核政策を支持しなかったように、最近ではイギリスでも実質的に〃中立〃という言葉にこそなっていないが、中立を求める気運が高まっている。先頃行なわれたスエーデンとフインランドの選挙でも中立擁護の諸政党が進出している。十一月六日と七日におこなわれたイタリアの地方選挙でも米軍基地の撤去を要求する民主勢力が着実な伸びをみせている。またアジアではラオスが、南アメリカではキューバ革命につづいてサルバドルでクーデターがおきている。いま中立を求める声は世界的に広がってきているといえるね。

中立諸国の活躍

母　今年の国連総会では中立諸国が活躍しているようですね。

父　そうそう、今年の国連総会ではフルシチョフ首相の反植民地宣言とともに注目すべき動きだ。独立を闘いとった国のほとんどが中立の道を進んでいる。アジア・アフリカ諸国と社会主義国をあわせると、国連加盟国の半数以上になる。だから今やアジア・アフリカ諸国は大きな発言力をもっているが、そのうち中立に反対を示しているのは、日本、タイ、パキスタン、イラン、フイリッピンなどのごく一部の国だから、これらの国を除けば、大半のAA諸国は積極・消極のちがいこそあれ、みな平和中立の道を進んでいる。この現実は無視できないわけだ。しかも中立を否定している国でも、日本、南朝鮮、トルコ、南ベトナムといったところでは平和・中立の声に挑戦する独裁傾向と闘う気運が高まっている。最近ではSEATO（東南アジア条約機構）の本部があるタイでさえ、ソ連の経済援助をうける動きを示し、アメリカをあわてさせている。

人民の抵抗にあう力の政策

和男　そうするとアメリカの力の政策は世界のいたるところで人民の抵抗にあって揺ぎに揺いでいるというわけですか。

父　そういうことだろうね。キューバ革命の進展で最近はアメリカの最後のよりどころであるラテンアメリカにも中立の火がつきはじめている。目の前のキューバでさえアメリカは手のほどこしようがないという有様だ。サルバドルでクーデターがおき、グアテマラでもクーデターがおきかけたことなどがこれを示しているのではないかな。

のり子　そうするといままでは世界中で中立傾向が高まっているというわけなのね。

和男　ぼくたちも負けずに日本の平和・中立のためがんばらなくちゃ。

私たちには闘いの中できたえあげた三池魂と、日本中に三池の火がともり国のすみずみに労仂運動の基盤ができた大きな成果がある。

決意新らたに

緑ケ丘　永江美由紀

みんな仲間だ炭ほる仲間——朝な夕なに歌いつづけ励げまされて闘ってきたこの組合歌を、私たちはいまあの生々しい想い出の三川坑正門前に整列して、声高らかに力強く大合唱しました。

昨日までの物々しい鉄条網は取りはずされ、一九六〇年十一月二日、史上最大の争議といわれた三池闘争は、中労委の再あっせんにもとづく条件交渉の妥結によってここに終結したのです。

私たちは生涯忘れることはできません。あの雪の降る寒さきびしい一月二十五日、会社の不当なロックアウトに対決して無期限ストに突入してから二百八十三日目、いまここに堂々といっせい入構をし就労するわけですが、その顔は闘いの中で力強くきたえあげられた者の誇りある顔と顔でした。

ある新聞記者が「敗けたと思った第一組合が元気がよくて、会社と第二組合がしよげてるのはどういうことなのか」とたずねていましたが、正しい闘いを堂々と闘いぬいてきた組合員・主婦であるからこそ明るさも元気もあるのだと思います。

着到表を前に居並ぶ職制と第二組合員は、会社の手先となって動いたとはいえ、下うつむいた姿とスト破りをして闘い半ばにして脱落していった第二組合が打ちしづみ、落ちつかず追われる罪人の如くという表現が適当のようです。

しかし、私たちはこの不当な首切りを撤回できなかった。雨の日も風の日も必ず勝つのだという確信をもちながら、生命の限り闘いぬいてきたのに。

デモの先頭に立つ拒否者の人たち、あの人もこの人も生産阻害者という名目で一方的に指名解雇をされた。どこにそんな人がいるというのか教えてみろ——と鉱長にいいたい。

涙がとめどもなくあふれて——万感胸に迫るとともに、それがさらに倍加して激しい怒りにかわって行く。

久保さんを失い、三月二十八日竹下さんの眼を失い、多くの犠牲者を出し、そして官憲の弾圧をうけながらもその暴力にも屈せず、裁判所、中労委、資本のすべてを敵にして激しく闘いぬいてきたのに、耐えがたき結果を認めざるを得なかった。一二〇〇名の同志を職場から失ったことです。

二十八年から六年の間、血の出るような闘いの成果であった労働条件も切下げられた——。

だが、私たちは得たものがある それはこの闘いの中できたえあげられた何物にもおかされない三池魂と、日本中に三池の火がともり国のすみずみに労働運動の基盤ができた大きな成果である。

あくまでも一二〇〇の人たちとともに、法廷で闘う人たちを守り就職その他の条件を取り、三池の組合員・主婦として闘いの中で得た尊い経験を生かして、労働運動の推進者となり闘いぬいていき、一方的な指名解雇の不当性をついて闘いのくめる日を念願して、いまからねばり強く前進の第一歩を踏み出すべきだと思うのです。

安保と三池、この二つの大きな闘いの中で成長してきた労働者の平和と独立を希う連帯意識は、いやが上にも燃え上がりその力は大きく拡大されつつあります。

国の内外の情勢も明るい。追いつめられた資本主義の最後のあせりが見えます。現時点で闘いの評価はできないと思います。

労働者が勝つときはただ一度だけ、そのために頑張ろう。闘いはむしろ今後に残されている。

ねばり強く生命の限り闘いぬこうと、就労する組合員を見守りつつ新らたな決意を固めました。

尊い連帯の強さ

初めて崎戸へ交流して

四山鶯町　松葉とえ子

朝もや立ちこめる午前六時、私たちは鶯町広場に集合、人員点呼を終えてバスの来るのを待った。間もなく車中の人となり崎戸へ向う。参加人員は主婦会員六十九名組合員、オルグがほかに三名。全員動員食に動員服装。佐世保まで四時間半かかるということであった。朝のあいさつならびに注意事項として、私たちの頭にしめたはち巻を胸にしめ、はち巻に恥じない整然たる態度で行動してもらいたいと会員のみなさんに要望し、その後、最近の情勢を地域分会長から報告していただき、その後、私たちのうた「炭婦協の歌」の全員合唱で気勢をあげた。

大川町に入ったころ、通勤、通学のラッシュで交叉点で大分待たされた。活気のある朝の風景を後に佐世保へと進む。「はち巻固く」を先方で時間があればうたうということで練習した。十時三十分佐世保に着いた。崎戸の執行部の方が出迎えて下さった。乗船した一行の中には船旅ははじめてという人も大分いた。心配していた波もなく、今日は最近にない凪であるとのことであった。崎戸主婦会副会長が迎えに見えておりその日の行動について打ち合せをおこなった。二時間の交流なので、短い時間を有効に利用するために、崎戸が十二分会あるというので私たちも十二班に別れた。一分会が十二に別れるということになれば数としては問題ではないが、舌の点で心配をしたけれども、一応役員や班長でやらねばならない。固苦しいことはぬきにして今までの支援のお礼を述べた上、いままで労働者全体の先頭にたって闘ってきたこと、また今後も闘わねばならぬこと、闘いは終ってないのだということを十分伝えていただくということで、各地に入ってもらうことにした。

崎戸港が見えだした。先方では組合旗を打ち振って迎えてくれた私たちも分会旗でこれに応えた。崎戸に来てこのように盛大に迎えていただいたことに、私たちは労働者の連帯というものの有難さを痛切に感じた。近づいて見ると、三池にオルグに見えた顔見知りの方が沢山おられた。崎戸の組合旗と私たちの分会旗を先頭に組合事務所までの坂道をのぼり、組合本部前で執行委員長のあいさつをうけた。その後各地域に分散、計画通り交流に入った。

私たち五名は旭区というところに入った。そこでは六十名位の人が集まり熱心に聞いて下さった。私は最近の三池の実情を簡単に説明、三池の闘いで私たちの経験したこと、感じたこと、資本家につながる警察、裁判官、中労委の正体を話した。質問の中にはやはり一万円生活はどういうようにしているか、いま、第一と第二の間、その子供たちの間はどうかということが多かった。三池の退職者はどうしているか、就労の見通しはどうか、ということも聞かれた。

いま、三池の組合員は借金が六万円位あるとのことだから、今後カンパ体制を十分につくりあげたいという崎戸の人の声に感謝をしてそこでの交流を終えた。私たちは時間があと五分というときに坑口まで案内してもらい、繰込場なども見せてもらって来た。崎戸でも四百六十名の希望退職者を出している現在、毎日崎戸を去って行く方がある。その方たちは大阪、東京へと就職が決った人たちだが、「私たちは崎戸を去っても労働者だから、労働者精神は失いません私も三池に行ったが、三池での経験を生かし闘ってゆきますよ」といわれた。その退職者の方が旅立たれるのを、崎戸のみなさんも多数見送りにこられ、別れを惜しんでおられた。

私たちも短い交流も終り帰りの船路についた。紙テープが交錯し夕やみせまる崎戸を後にした。

バスの中では各地区での交流の模様を代表の方に報告してもらった。地区によっては苦労をされたところもあったようだ。はじめての交流で大変苦労されたことと思うが、みな心残りがして、もう少し時間がほしいといっていた。苦労はしたが一生の思い出になることと思う。ほんとうに一日の強行軍であったが、みんな元気で疲れもみせず帰ることができたことを非常にうれしく思う。これも三池の闘争できたえられた体力と精神力の賜と思っている。三池闘争の成果の一つにあげていいと思う。

俳句

平井分院　俳句会

11月6日

洋子
うたごえの「小倉」に集う菊日和
組合旗高くかかげて文化の日
節代
歌声や菊生き生きと香を放つ
病舎の窓に影をうつして散る枯葉
君子
あらそいの後や夕げの秋寒し
追憶のしばしときれん月雲に
ひろし
待つ窓の広さや壁の花なすび
歌声のここに集いて天高し
シズ子
菊香る白衣の部屋に句心も
窓ぎわに陽の溢れいてセーター編む
穂子
病む人のひとみに哀し華紅葉
わけもなく友泣き居りし夜の秋
富美枝
枯枝の大きく伸びし夜の影
去る人の背へ白々と月の照り
八重子
一言を許せぬ性や月を背に
容れられぬことは知りぬ秋の雨
患者の訴えなお続きおり菊の雨
末華
失職の顔秋を日焼けてピケ解かる
明日解かるピケや雲間の月冷ゆる
生産再開秋空汚す飛行音
咳き込めば夜が白々と嘲笑す

大牟田婦人大会

今年度の大牟田婦人大会は来る十二月四日中友小学校でひらくことになっている。午前中は十分科会にわかれて討議をおこない、午後が全体会議をひらくことになっている。